

インターバンクの声（2017年3月3日）

昨日の早朝、ブレイナード FRB 理事が「利上げ実施はすぐに適切になりそうだ」と発言し、ドル/円は 114 円台まで上昇した。ブレイナード理事は、FRB 高官の中で最も利上げに慎重なハト派と見られていることから、この発言で 3 月利上げのカウントダウンがいよいよ始まった気がする。

金融市場では、本日予定されるイエレン議長やフィッシャー副議長の講演内容を見極めたいとのムードが強い。先日、ダドリー米ニューヨーク連銀総裁が「利上げの主張はより説得力のあるものとなった」との見通しを示し、3 月利上げにかなり踏み込んだ発言をしていた。ダドリー総裁はイエレン議長に近いとされ、本日の発言もダドリー氏と同様のトーンになるのではないかとの見方が出ている。

3 月 1 日に米ダウ平均株価が 300 ドル超の上昇となり最高値を更新したことにに関して、ニュース記事では「FRB の早期利上げ観測の高まりを受け米長期金利が上昇。利ざやの改善期待から金融株が買われ、指数を押し上げている」とあった。

リスクオン相場と片づけるのは簡単だが、『金利上昇の予想では、株価は下落する』との金融の基本原則から考えると、やはりこの相場には少し違和感が残る。

トランプ政権の政策には財源確保や議会との調整などハードルが残っており、この相場の持続性に不安を感じる参加者も出てくると思う。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。